

2024年11月16日

ビジネスクリエータ研究学会会員 各位

コメディカル組織運営研究会

代表 八木 麻衣子

会員総会資料ーコメディカル組織運営研究会
2024年度 活動経過報告書

[研究会の目的]

- ①医療専門職でありながら、組織運営を託された若手の理学療法士、作業療法士および言語聴覚士が組織運営に関する意見交換を行い、問題解決の一端を担える場を提供する。
- ②最終的には、実際の医療現場で考えられる様々なケースに関して出来る限り普遍化した実践を整理し、医療機関におけるメディカルスタッフにおける組織運営の方法論を議論できる基盤を確立する。

[2024年度活動経過報告]

1. ホームページの運営および情報提供

スタッフによる経営書などに関するコラムの発信を1回/月で継続中

2. 定例勉強会

・課題:『NUDGE 実践 行動経済学 完全版』

リチャード・セイラー (著), キヤス・サンステーン (著) 日経 BP 社

・開催方法: 立教大学での対面およびオンラインのハイブリッド開催

・目的: 行動経済学的な考え方を理解し、職場運営の課題解決にナッジを用い、実践していくための理論的な理解を深めて実践につなげていく

・参加者: 12名

・開催内容:

第1回 2023年4月13日(土) 事例検討・ディスカッション

第2回 2023年7月20日(土) 事例検討・ディスカッション

第3回 2023年10月12日(土) 事例検討・ディスカッション

3. 学術集会

■日時:2024年11月17日(日)

[テーマ]職場運営へのナッジの応用 —実践事例を通してのディスカッション—

■場所:文京学院大学本郷キャンパスでの対面およびオンラインのハイブリット開催

■概要:

・講義:行動経済学的な考え方を職場運営に活かそう—ナッジの効果的な使い方を考える—

・実践事例

1. 風通しのよい職場への取り組み 2編
2. サンクスカードを活用した代行促進
3. 情報提供型ナッジとしてのポスターを活用したクリニカル・ディスカッションの促進
4. 勤怠管理エラーを減らすための取り組み
5. ジョブローテーションへのいやな感情を減らすための取り組み

[まとめ]

来年度以降も、コツコツと活動を継続していく予定です。ご協力、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

以上